

公安委員会定例会議の概要

開催月日：令和8年2月12日（木）

出席者

○公安委員会

久家委員長、渡邊委員、平川委員

○県警察

警察本部長、生活安全部長、刑事部長、交通部長、警備部長、情報通信部長、首席監察官、警察学校長、警務部総括参事官、総務課長、広報課長、会計課長、捜査第一課長、警備運用課長、運転免許課聴聞官、公安委員会補佐室長

大分県公安委員会定例会議における協議事項、大分県警察からの報告事項等は次のとおりであり、それぞれの事項について審議を行いました。

協議事項

○ **犯罪被害者等給付金（重傷病給付金）の給付金支給決定について**

警察本部から、犯罪被害者等給付金の支給等による犯罪被害者等の支援に関する法律第11条第1項に基づく犯罪被害者等給付金（重傷病給付金）の支給についての説明がなされ、協議の結果、原案のとおり支給を決裁した。

○ **特例施設占有者の指定について**

警察本部から、遺失物法施行令第5条第5号に基づき都道府県公安委員会が指定することとなっている特例施設占有者に関し、施設占有者からの申請を専決により受理したため、審査の上、指定することについての説明がなされ、協議の結果、原案のとおり特例施設占有者に指定することを決裁した。

○ **公安委員会に対する苦情の申出に関する調査結果について**

警察本部から、公安委員会に対する苦情の申出について、当該調査結果の説明がなされ、協議の結果、申出人に対する回答を決裁した。

○ **運転免許の行政処分について**

警察本部から、運転免許の取消しに係る意見聴取事案等に関し、各事案概要、処分内容、被処分者の意見・弁明等についての説明がなされ、協議の結果、原案のとおり取消処分等を行うことを決裁した。

○ **警察職員の援助要求に基づく派遣について**

警察本部から、福井県公安委員会及び宮崎県公安委員会から警察法第60条第1項の規定に基づく援助の要求を受け、警察職員を派遣することについての説明がなされ、協議の結果、同要求に対して警察職員を派遣することを決裁した。

報告事項

○ **令和8年大分県議会第1回定例会の日程について**

警察本部から、令和8年大分県議会第1回定例会の日程に関し、会期、日程、議案等について、報告がなされた。

○ **令和8年度警察費当初予算案の概要について**

警察本部から、令和8年度警察費当初予算案の概要に関し、予算額及び主要事業等について、報告がなされた。

公安委員から「職員の勤務環境等に配慮した警察施設の改修に努めていただきたい」旨の発言がなされ、警察本部から「引き続き、警察署等と連携し、必要な改修等を行ってまいる」旨の説明がなされた。

○ **令和8年春の組織改編概要について**

警察本部から、令和8年春の組織改編に関し、現下の治安情勢等を踏まえ、組織の合理化及び人員の効率的配置により体制強化等を行うことについて、報告がなされた。

○ **令和8年1月末現在の交通事故発生状況等について**

警察本部から、令和8年1月末現在及び令和7年中の交通事故発生状況等について、報告がなされた。

公安委員から「1月中に交通死亡事故が発生しなかったことは、これまで県警の皆さんが交通安全活動に懸命に取り組んだ結果の現れと考える。引き続き、県民の目に見える形での活動をお願いします」旨の発言がなされた。

○ **外免切替手続の見直し後の運用状況について**

警察本部から、令和7年10月1日に厳格化された外免切替手続の運用状況について、報告がなされた。

公安委員から「外免切替手続の厳格化は、国民の声によるものであることから、今後も適正に運用していただきたい」旨の発言がなされた。

○ **小型無人機等の飛行に関する通報受理の専決について**

警察本部から、令和7年7月1日から12月31日までの間における小型無人機等の飛行に関する通報を専決により受理したことに関し、対象施設、受理件数及び通報内容等について、報告がなされた。

そ の 他

○ **自治体等と連携した外国人への対応について**

公安委員から「県内に居住する外国人の増加に伴い、外国人が関係する交通違反や犯罪が多いと耳にする。自治体などと連携し、外国人への交通ルールの周知や犯罪に巻き込まれないための指導などを行っていただきたい」旨の発言がなされ、警察本部から「現在でも外国人の在籍する事業所や学校等を訪問し、教養等を行っている。自治体にも呼びかけを行い、連携して取り組んでまいりたい」旨の説明がなされた。

○ **九州管区広域緊急援助隊合同訓練視察結果について**

公安委員から「先般、九州管区広域緊急援助隊合同訓練の視察を行い、警察や自衛隊、消防の方などが様々な機材を使いこなして力強く訓練する様子を拝見し、非常に頼もしく感じた。次にこういった視察の機会があれば、隊員の方の生の声を聞かせていただくなど、視察が更に充実するよう工夫していただきたい」旨の発言がなされた。